

東急不動産ホールディングス株式会社が発行する 「サステナビリティ・リンク・ボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 内田通郎、以下「当組合」）は、東急不動産ホールディングス株式会社（以下「本法人」）が発行する第 26 回サステナビリティ・リンク・ボンド・無担保社債（以下、「本債券」）への投資を決定いたしましたので、お知らせいたします（本債券発行日 2021 年 10 月 11 日）。

「サステナビリティ・リンク・ボンド」とは、あらかじめ定められたサステナビリティ/ESGの目標（SPTs）を達成するかどうかによって条件が変化する債券のことで、調達資金が必ずしも特定の資金用途に限定されません。

本債券は、環境省とその請負事業者（株式会社格付投資情報センター（R&I）および株式会社グリーン・パシフィック）により、「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン 2020 年版」および「サステナビリティ・リンク・ボンド原則 2020（ICMA）」に適合すると確認されております。

本債券による調達資金は、再生可能エネルギー事業を中心に、グリーンビルディングやシニア住宅事業等に充当される予定で、SPT1 として 2030 年度に温室効果ガス 46.2%削減、SPT2 として 2025 年にカーボンマイナスの達成とし、SPTs 未達の場合、それぞれ発行額に対して 0.25%の金額を「緑をつなぐプロジェクト」に関連した寄付先等に支払うこととしています。

当組合は、今後も ESG 投資を通じて、SDGs の達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以上